

# あすなる空の会 意見交換会 会議録

日時：令和8年7月2日（木）13:00～14:30

場所：新宿共同利用施設

出席者：20名

## 1 開会・挨拶（染谷）

- ・ 本会は、成田空港の機能強化と地域住民との共生を目指して設立した団体であることを説明。
- ・ 空港問題を「賛成・反対」の対立ではなく、地域課題として捉え、市民の声を行政や関係機関へ届けることを目的として活動していくことを共有した。

## 2 成田空港の歴史映像上映

- ・ 成田空港建設から現在までの経緯や地域との関わりについて理解を深めるため、歴史映像を上映した。

## 3 講義（染谷）

以下の内容について説明を行った。

- ・ 航空機発着回数は年間34万回から50万回へ増加する計画であり、国策として進められていること。
- ・ エアポートシティ構想や産業クラスター形成による地域経済への波及効果。
- ・ 航空会社では低騒音機への更新が進んでいる現状。
- ・ 深夜・早朝便の騒音対策について国会議員へ要望を行い、防音工事申請手続きの簡素化が実現した経緯。
- ・ 今後は深夜・早朝時間帯における低騒音機の導入促進が重要であること。
- ・ 地域相談センターを通じて住民意見を空港へ届けることができること。
- ・ 成田空港関連交付金の概要と、特に地域振興枠の活用方法が地域づくりに重要であること。

## 4 住民との意見交換

参加者から主に次のような意見・要望があった。

- ・ 成田空港は発展している一方で、地域の発展が実感できない。

- ・ 千葉県側と茨城県側では空港対策や地域振興への取組に温度差がある。
- ・ 市民が空港整備による恩恵を十分に感じられていない。

## 主な要望

- ・ 防音工事対象区域（定住促進区域）の拡大を希望。
- ・ ※自治体判断で区域拡大が可能であるため、今後要望していくことを説明。
- ・ 地区区民館維持費は年間約24万円必要だが、現在の補助は12万円。
- ・ 騒音区域内自治体では満額補助の事例もあるため、24万円への拡充を希望。
- ・ 空港交付金は騒音区域内の住民対策へ重点的に活用すべき。
- ・ 通学路の草刈りや道路環境整備など、地域の困りごとの解決に交付金を活用してほしい。
- ・ 道路沿いの廃屋について、行政代執行も含めた対応を検討してほしい。

## 5 四者協議について

参加者のSさんから代表してご意見をいただいた。

- ・ 現在の四者協議に茨城県が参加していないため、茨城側の意見が十分反映されていない。
- ・ 茨城県、稲敷市、河内町も協議の場へ参加できるよう働きかけてほしい。
- ・ 飛行時間、高度、健康影響など幅広い課題についても協議できる体制を望む。
- ・ 空港側も以前より住民の声を聞く姿勢が見られるため、地域も積極的に声を届けることが重要。

その他

- ・ 茨城県の意見を国や空港へ届ける新たな仕組みが必要ではないか。
- ・ 形式だけの協議会ではなく、実効性のある協議の場が必要。
- ・ 地域住民が団結し、署名活動など住民運動を行うことが最も大きな力になる。

## 6 今後の活動方針

今後の重点目標として次の3点を確認した。

1. 茨城県及び関係自治体が四者協議へ参加できるよう働きかける。
2. 成田空港関連交付金の活用について提案を行う。
  - 定住促進区域の拡充

- 第一種区域と隣接区域に対しての重点的な交付金の活用
- 地域振興枠の住民ニーズに即した活用

### 3. 更なる機能強化後の環境対策を継続的に注視する。

- 深夜・早朝時間帯の低騒音機の導入促進
- スライド運用など運航方法の確認
- 騒音軽減に向けた新たな取組への提言

また、空港整備は国の重要政策であり、地域住民の生活との共生を図ることが不可欠であることを改めて参加者で確認した。今後は県議会議員とも連携しながら茨城県への要望活動を進め、市民の声を着実に行政・国・空港会社へ届けていくことを共有し、閉会した。

#### 【後記】

今回の会を通じて、参加者の皆さまが「成田空港と地域の共生」というテーマに対し、非常に前向きな思いを持っておられることを改めて実感しました。

参加者の中には、空港建設当時に建設業に携わり、反対派のやぐら撤去に関わった方、30年にわたり仕事で空港へ通い続けてきた方、そして空港の発展が地域にもたらした経済効果を肌で感じてこられた方々がおられました。長年にわたり空港とともに歩み、その発展を稲敷の地から支えてこられた皆さまだからこそ、今回、住まいが定住促進区域に指定されなかったことや、地域振興が十分に進んでいない現状に対し、大きな疑問や不安を抱かれていることが印象的でした。

また、成田空港関連交付金の活用方法については、参加者から多くの建設的なご意見をいただき、大変活発な意見交換となりました。「ようやく住民の声が届いた」という安堵の声も聞かれ、この会の意義を改めて感じる機会となりました。

私たちは、こうした市民の皆さまの声を真摯に受け止め、地域と空港がともに発展できる未来を目指して、これからも市民の皆さまと歩みを進めてまいります。

最後に、本会の開催にあたり多大なるご協力をいただきました稲敷市環境課の岩崎様、そして成田空港職員の皆さまに心より感謝申し上げます。

引き続き、稲敷市と成田空港が互いに発展し、真の共生を実現できるよう取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。